

単元名「もし、訴えられたら？絶滅危惧種と法廷バトルー「絶滅危惧種裁判ファイル」を作ろうー」

教材 ・「ウミガメの命をつなぐ」(教育出版4年下)

・「絶滅危惧種裁判ファイル」(2015 大淵希郷 実業之日本社)

児童の実態

本学級の児童は、平成30年度のNRTの調査結果では国語の4つの観点の中で「読むこと」の項目が1番低かった。特に、説明的な文章を要約し自分の考えを書くことに課題がある。3年生では「めだか」で要点について学習している。児童にとって、要約は初めての学習で大事な言葉や大事な文を見つけることに関しては能力差が大きい。

国語に関するアンケートでは「国語の授業は大切だと思いますか。」の質問に全員が「大切だと思う。」と答えた。理由としては「将来役にたつと思うから。」と考えている児童が多かった。しかし、「国語の授業(物語文や説明文)で勉強したことを他の教科や生活に使うことがありますか。」の質問には、「ある。」と答えた児童は4人しかいなかった。このことから、児童は国語の授業は大切だとは思っているが国語の授業を通して、生活や他の教科に役に立っていると感じていないことがわかる。実生活に生かせる言語活動を設定していくことが大切になってくると考える。

単元の目標

- ・うみがめを保護することに興味をもって読み、進んで絶滅危惧種について書かれた本を読もうとしている。(関心・意欲・態度)
- ・興味もったところや感心したところを中心に、段落相互の関係や事実と考察の関係を考え読むことができる。(読むこと イ)
- ・興味もったところや感心したところを中心に、大事な言葉や文を捉えて文章を要約することができる。(読むこと エ)
- ・言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気づくことができる。(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項)

課題

- ①みなさんは、絶滅危惧種から訴えられました。訴えを聞いて、自分が興味をもった保護活動について人間を弁護する文章を考えましょう。(パフォーマンステスト①)
- ②自分の選んだ絶滅危惧種を自分が興味をもった観点で紹介してください。(パフォーマンステスト②)

言語活動

○児童が「読みたい」「やってみよう」と思うような言語活動を設定する。(主体的・対話的で深い学び)
 本単元では「もし絶滅危惧種が人間を相手に裁判を起こしたら、神様はどんな判決を下すだろうか」という設定で学習材に出会わせ、人間代表として弁明する文章を考え、「絶滅危惧種裁判」ファイルを作る」言語活動を行い、法廷形式で話し合いを行い、自分の考えを深めていく。さらに、要約のやりかたの言語活動ループリック(要約チェックシート)を作成し、児童が自らの学習状況を自覚しながら行うことで、他教科や生活に役立てていく。

時間	課題	学習内容	授業後の児童の姿
1 2	◎「絶滅危惧種裁判ファイル」を知り、単元の見通しをもとう	○絶滅危惧種ファイルの作り方・書き方 ・文の構成 ・文の内容 ・本の選び方 ○裁判の仕組みや仕方 ・原告(絶滅危惧種) ・被告(人間) ・判決(神様)	・絶滅危惧種に興味をもち、自分の興味のある絶滅危惧種又は絶滅動物の本を読んだり調べたりしている。 ・裁判の仕組みや仕方について知り、学習に対して興味・関心を高めている。
3	◎「うみがめの命をつなぐ」の興味をもったところや疑問をもちながら読もう	○感想の書き方 ・読む前 ・読んでいるとき ・読んだ後 ・疑問 ・興味をもったところ	・「うみがめの命をつなぐ」を疑問や興味をもちながら読み、自分なりに裁判に向けて見通しをもっている。
4 5	◎自分たちの感想を中心に学習計画を立て、要約する観点を決めよう	○要約する観点の決め方 ・興味をもったところ ・感想の中心 ○要約の仕方	・自分が興味をもったところを中心に自分の観点を決めている。
6	◎要約する観点や目的に応じてキーワードを見つけよう	○大事な言葉やキーワードの見つけ方 ・例えや具体例は省く ・主語 ・5W1H ・観点	・要約チェックシートを使ってキーワードや大事な言葉を見つけている。
7 8	◎図や表を引用しながらキーワードを用いて要約しよう(パフォーマンステスト①)	○キーワードを整理する ・表や図 ・箇条書き ・Xチャート ・付せん	・キーワードを整理して要約の約束通りに要約し、人間を弁護する文章を書いている。
9	◎自分の選んだ絶滅危惧種を自分の興味をもった観点で紹介しよう(パフォーマンステスト②)	○要約の仕方 ○紹介の仕方	・要約チェックシートや既習事項を参考に自分で要約することができる。
10.	◎絶滅危惧種裁判を開こう	○裁判(シェア)の仕方	・絶滅危惧種に興味を持ち、本を読み広げている。要約の仕方を他教科でも活用しようとしている。

読書生活の構築へ

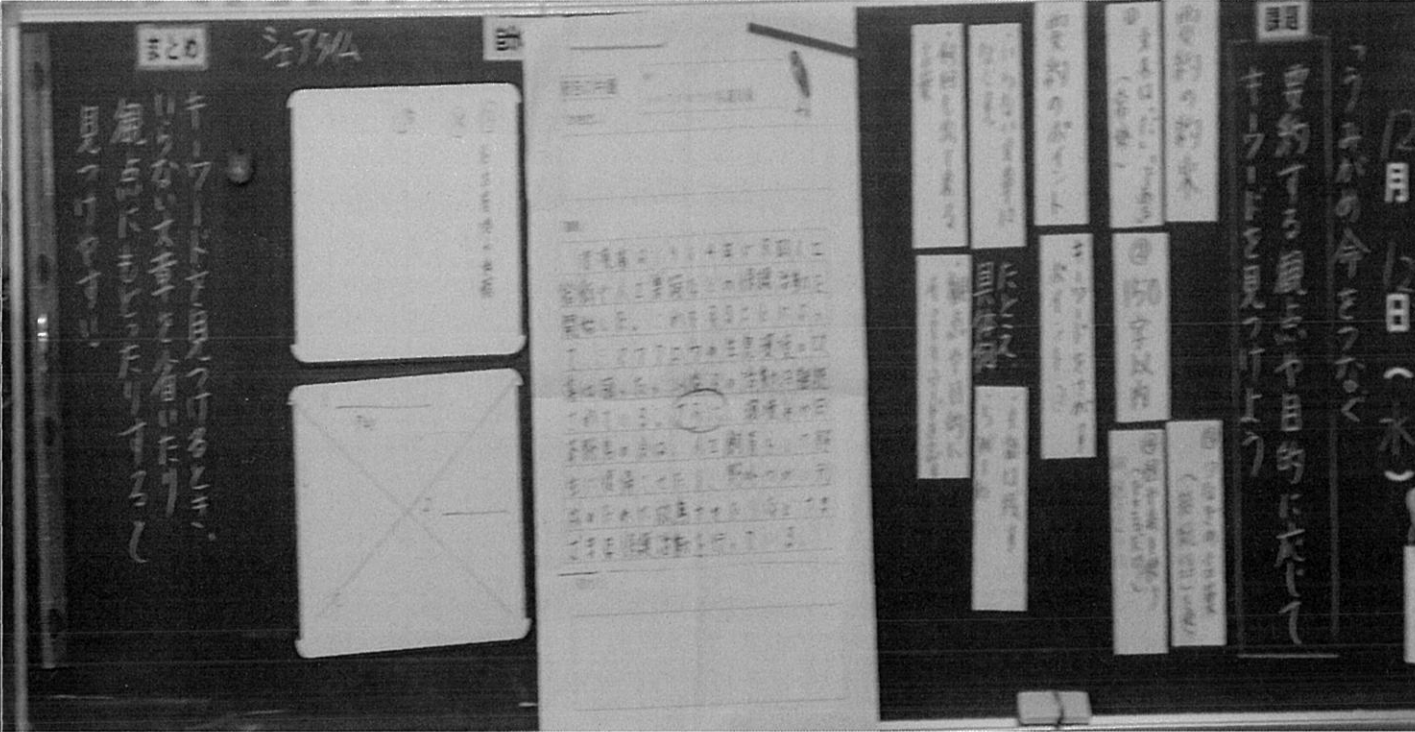
他の絶滅危惧種や動物の本を読み朝の時間に紹介する活動を行う。

日常生活へ

今回学んだ引用・要約の仕方を社会科や理科、総合的な学習の時間等他教科に活かす活動を続けていく。

本時の目標 自分の要約する観点や目的に応じて大事な言葉や文を見つけよう (6/10)

本時の展開

前時の概要	
<p>自分の興味をもったところを中心に要約の観点を決めよう</p> <p>児童の感想を中心にXチャートで4つに分類した観点を示し、班の中で自分が書きたい観点を選んだ。さらに、3年生の教材「めだか」で要約チェックシートをもとに要約の仕方を示し、児童は大事な言葉やキーワードを見つける方法を考えた。</p>	
本時の板書計画 (6/10)	
	
今後の展開	主体的・対話的で深い学びについて
<p><u>期待する児童の姿</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードや大事な言葉のつけかたを理解し、それを他の教科でも実際につかっている。 <p><u>次時の学習課題</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・キーワードや大事な言葉を整理し、名古屋港水族館の保護の取り組みを要約しよう 	<p><u>☆主体的・対話的で深い学びについて</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シェアタイム (交流) を通して、キーワードや大事な言葉を見つけ、もっといいところ、要らない部分等話し合いを通して深めていく。 ・まとめでキーワードや大事な言葉を生活や他教科に活かせることを考えさせ振り返りにつなげていく。

学習活動	学習内容	留意点
1 本時の活動の確認をする。		
2 本時の課題を把握する。		
3 要約の約束を知る。		
4 キーワードや大事な言葉を探すポイントを知る。		
5 教科書の自分の観点の場所を読みサイドラインや <input type="text"/> 囲んだりする。		
6 シェアタイムをする		
①グループで話し合い、段落ごとに確認する。		
②人間の努力について伝わる場所を抜き出す。		
7 まとめ、振り返りをする。		
8 次時の予告聞く		

自分の要約する観点や目的に応じてキーワードを見つけよう

○要約の約束

- ・150字以内
- ・文末は「だ、である」常体
- ・つながりの言葉
- ・図や表 (図のように・・・)

○キーワードの探し方

- ・必要のない文章は省く (たとえ、具体例)
- ・主語
- ・5W1H
- ・何回も出てくる言葉
- ・観点や目的にあっているか

○交流の観点 (キーワードや大事な言葉を見つける)

- ・話の始め方
- 「①段落は～」
- 「人間の努力は・・・」

まとめ キーワードを見つけるとき、いらぬ文章を省いたり、観点にもどったりすると見つけやすい。

○振り返りの書き方

- ・要約の約束を知り、名古屋港水族館の保護活動をまとめることが人間を弁護することにつながっていることに気づかせる。
- ・要約の約束を知り、どんな風に要約するか見本を示しながら見通しをもたせる。

- ・自分で観点にあったキーワードや大事な言葉を見つけられるように教材「めだか」で復習しいつでも確認できる場所に貼っておく。

- ・サイドラインを引けた人は、ワークシートに抜き出したり、付せんに書いたりする。

- ・話の始め方を示すことでスムーズに始められるようにする。さらに話し合いにつまったら、兄弟グループに行き、話し合いにいかせることで学びを広げられるようにする。